

令和 8(2026)年度

総合型選抜

(外国高等学校出身者及び帰国生徒)

入学試験問題

文学部共通科目日本語

10:40～11:40

二〇二六年度 学習院大学 総合型選抜(外国高等学校出身者及び帰国生徒)入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部	
文学部	
志望学科	
受験番号	
氏 名	カナ
試験科目	
日 本 語	
備 考	
(六) 枚中 (一) 枚	
問題解答用紙	
採点欄	

一次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。(配点八〇点)

^A訂正するとは、一貫性をもちながら変わっていくことです。難しい話ではありません。ぼくたちはそんな訂正する力を日常的に使っているからです。

この点でうまいなと思うのは、ヨーロッパの人々です。彼らを観察していると、訂正する力の強さに **X** ざるをえません。新型コロナウイルス禍を思い出してください。イギリス人の「訂正」にはすさまじいものがありました。大騒ぎしてロックダウンをしたと思いきや、事態があるていど収まると、われ **①** にマスクを外していく。「自分たちはもともとコロナなんて大したことないと感じていた」と言わんばかりです。「いや、そうだったかな」と思わずにはいられないですが、彼らはあたかもそれが当然だったかのように振る舞います。

日本人からすると「ずるい」と感じるかもしれません。スポーツでもしばルールチェンジが問題になっています。それでもヨーロッパの人々はルールを容赦なく変えてくる。政治でも同じです。たとえば気候変動。少しまえまでドイツは、「脱原発」や「二酸化炭素排出量の削減」を高らかに **②** げていました。ところがウクライナで戦争が **③** ぼツパツしロシアからの天然ガスの輸入が途 **④** えると、「やはり原発と石炭火力も必要だ」と言い出す。

これまで観光業でさんざん稼いできたフランスも、最近はおバーツーリズムを **⑤** ケネンし、「地元コミュニティと環境保護のために観光客数を **⑥** ヨクセイする」という新たな方針を打ち出しています。**⑦** カレイな方向転換です。

ただ、ここで大事なのは、そのときに彼らが自分たちの行動や方針が一貫して見えるように一定の理屈を立てていることです。それはある意味でごまかしですが、そういった「ごまかしをすること」で **⑧** ア しつつ訂正していくというのが、ヨーロッパの強さは、この訂正する力の強さにあります。それはきわめて保守的でありながら同時に改革的な力でもあります。ルールチェンジを **⑨** ヒンパンにすることによって、たえず自分たちに有利な状況をつくり出す。それなのに伝統を守っているふりもする。それはヨーロッパのずるさであると同時に **⑩** カシコさであり、したたかさなのです。

日本にも訂正する力がないわけではありません。昔からよく指摘されているように、大陸の辺境に位置するこの国は舶来のものに **⑪** があります。中国に接したら中国の文化を受け入れ、欧米がきたらこんどは欧米の文化を受け入れる。それは **⑫** Y なようできて、じつは肝心なところはまったくと言っていいほど変えていない。

たとえば名前です。朝鮮半島やヴェトナムでは中国文明の輸入とともに命名も中国風に変えてしまいました。他方ぼくたちはいまだに古い名前を保持しています。

科挙も採用していません。日本語をローマ字化する運動も **⑬** ツブレました。日本は、信念なくすべてを外国に合わせているように見えて、ひどく頑固で根底でずっと一貫している国でもある。つまり、改革に開かれているように見えてきわめて保守的な国でもあるわけです。

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部	
文学部	
志望学科	
受験番号	
氏名	カナ
採点欄	
試験科目	
日本語	
備考	
問題解答用紙 (六) 枚中 (二) 枚	

日本は日本でしたたかだったということです。ただ、ぼくたちはその先人たちの力を忘れ、うまく使えなくなっています。どうすれば訂正する力を取り戻すことができるのでしょうか。

身近な例から考えてみましょう。現代日本で改革の障害となっているのは、つねに「空気」、つまり社会の無意識的なルールです。

この空気なるものは、みなが他人の目を気にするだけでなく、同時に気にしている他人もまた他人の目を気にしているという入れ子の構造をもっているのです、とても厄介です。たとえば、コロナ禍が終わってもマスクをなかなか外せないという話題がありました。これは、単純に周りのひとから「マスクをしろ」という圧力をかけられ、怖いというだけの話ではありません。

もしかしたら、周りのひとも本音ではマスクを外したいのかもしれない。けれども、彼らが「他人がどう思っているかわからないから、まだ外すのは控えよう」と思っているかぎり、自分だけマスクを外すわけにはいかない。実際にはみながマスクを外したいと思っていたり、無意味だと感じていたりしたとしても、相互の監視が存在するためにだれもが社会の無意識的なルールにしたがってしまう。これが空気の問題です。

その結果、いつまで経ってもだれもマスクを外すことができない。と思いきや、ひとたび一部のひとがマスクを外し始めれば、こんどは逆に、花粉症などでマスクが必要なひとを含め、だれもが外さなければいけないような気持ちにされてしまう。その変化の切れ目がなんなのか、われわれはわからないし、またそれをコントロールすることもできない。

このような厄介な構造をもつ「キハシ」意識を、どのようにしたら「訂正」できるのでしょうか。

空気については、評論家の山本七平による『「空気」の研究』がコロナ禍で再注目されました。1977年に刊行された本ですが、昔から日本人は空気に支配されているという文脈で引っ張り出されたわけです。

ところがこの本を読み返すと、じつは空気という言葉は、いまのような「P」という意味では使われていません。

同書を中心になっているのは「臨在感的把握」と呼ばれる現象です。ふつうの学問的な言葉で言うと、ある種のフェティシズムです。日本人はアニメズムとフェティシズムが強いから、たとえばいちど「コロナが悪」ということになったらみながそれを呪物ように扱ってしまい、あまり議論ができなくなるということです。

「山本七平が」と喧伝^{けんでん}されているわりに、山本七平は実際はその話をしていない。これは今回確認してみても「5」を衝^つかれました。戯画的に言えば、『「空気」の研究』の内容でさえも空気で決まってしまうている。

山本は「水」について興味深いことを述べています。盛り上がり「水を差す」と言うときの「水」です。この国では、空気に水を差していたと思ったら、水を差すこと自体が空気になっていく。だからいつも空気と水が循環している――。そんな議論で彼の本は締めくくられています。

『「空気」の研究』は半世紀前の本ですが、これはいまでも通用する指摘です。メディアでちやほやされる知識人が現実にはぜんぜん力をもたない現状は、おそらくこの空気と水の逆説に関係しています。

空気に抵抗しなければいけない。ルールチェンジをしなければいけない。そう主張するひとは多い。けれども、この国では、そのような主張（水）がそのまま受け取られるのではなく、すぐに「そういう主張をするひとが現れた」という新たな空気の間

※太線わく内は必ず記入してください。

志望学部	
文学部	
志望学科	
受験番号	
氏名	カナ

試験科目	日本語
備考	問題解答用紙 (六) 枚中 (三) 枚
採点欄	

題として理解されてしまう。つまり、『ルールチェンジをしなければいけない』と発言するという新しいルールでゲームをするひと」という受け取りかたをされてしまう。

そうすると、こんどはその新たな問題提起に考えなしにツイズイするひとが現れてしまう。いくら水を差しても、すぐそれが新たな空気になってしまう構造があるわけです。

これは重要な指摘です。空気は空気批判もすぐに空気に変えてしまう。日本のイ感の原因はそこにある。

だとすれば、そういった空気Ⅱゲームを変えるためには、空気から素朴に脱出しようとするのではなく、同じ空気Ⅱゲームのなかにいるようにいながら、ちよつとずつ違うことをやることによって、いつのまにか本体の空気Ⅱゲーム自体のかたちが変わってしまふといった^Bアクロバティックなことをやるしかありません。

じつはこれは日本だけの話でもありません。この状況認識はジャック・デリダというフランスの哲学者が唱えた「脱構築」という考えかたに似ています。

彼はじつは、ウ^⑩的で保守的なルールにノット^⑩っているように見せかけつつ、それを深く追求していくことによって、ヨーロッパにおける哲学の型をエ^⑩的に変えてしまふといった試みをして、それが評価されているひとなのです。哲学のかたちを「いつのまにか」変えてしまふという試みを、哲学の方法として提示した。そのようなデリダ的、あるいは「脱構築」的な手法は、日本においても実践的に有効だと思います。

というよりも、日本では脱構築しか有効ではないと言ふべきかもしれません。正面から既存のルールを批判しても力をもたない。ルールを訂正しながらも、その新しさを前面に押し出さず、「いや、むしろこつちこそ本当のルールだったんですよ」と主張し、現在の状況に対応しながら過去との一貫性も守る。そういった両面戦略が不可欠となります。

(東浩紀『訂正する力』による)

〔問題〕

(一) 傍線部①～⑩の片仮名を漢字に直し、解答欄に記入しなさい。

(二) 空欄①～⑤に入るもつとも適切な漢字一字を、解答欄に記入しなさい。ただし、同じ漢字は入りません。

(三) 空欄ア～エに入るもつとも適切な語を、次のa～pの中からそれぞれ一つ選んで、解答欄に記入しなさい。ただし、一つの語は一箇所にしか入りません。

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|-----|---|-----|---|----|
| a | 法 | b | 一時 | c | 閉塞 | d | 持続 | e | 加速度 | f | 非現実 | g | 暴力 |
| h | 比較 | i | 伝統 | j | 変化 | k | 根本 | l | 無作為 | m | 万能 | n | 離散 |
| o | 適応 | p | 優越 | | | | | | | | | | |

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
日 本 語		文学部	
		志望学科	
		受験番号	
備考	(六) 枚中 (四) 枚		
採点欄			氏 名

(四) 空欄 X・Y に入るもつとも適切な語を、それぞれ後の 1 ～ 5 の中から一つ選んで、解答欄に記入しなさい。

- X

な

1 舌を巻か

2 腕を磨か

3 目をつぶら

4 二の足を踏ま

5 胸を撫で下ろさ
- Y

な

1 純粹

2 野放図

3 几帳面

4 一進一退

5 公明正大

(五) 傍線部 A に「訂正するとは、一貫性をもちながら変わっていくことです」とありますが、「一貫性をもちながら変わっていくこと」と同じ意味の表現を、本文中から四字で抜き出し、解答欄に記入しなさい。

(六) 傍線部 B 「アクロバティックなこと」とは、日本の状況においてどのようなことですか。次の文は、本文の論旨を踏まえて、それを説明したものです。空欄Ⅰ～Ⅲに入るもつとも適切な箇所を、本文の中から指定の字数でそれぞれ一つずつ抜き出して解答欄に記入し、この文章を完成させなさい (字数は句読点、記号、符号を含みます)。

既存のルールを

Ⅰ 6 字

変えてしまった上で、初めからそれが

Ⅱ 6 字

だったと主張し、

Ⅲ 7 字

を保ちながら、対応していくこと。

(七) 傍線部 C に「日本では脱構築しか有効ではない」とありますが、その理由は何ですか。それを説明しているもつとも適切な一文を本文中から抜き出し、その最初の五文字を解答欄に記入しなさい (字数は句読点、記号、符号を含みます)。

(八) 空欄 P には五字の語句が入ります。その語句を本文中から探し解答欄に記入しなさい (字数は句読点、記号、符号を含みます)。

二〇二六年度 学習院大学 総合型選抜(外国高等学校出身者及び帰国生徒)入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
日 本 語		文学部	
		志望学科	
		受験番号	
備考			
問題解答用紙 (六) 枚中 (五) 枚		氏 名	
		採点欄	

(九) 本文の内容ともっともよく合致するものを、次の1～8の中から二つ選んで解答欄に記入しなさい。ただし、三つ以上選んだ場合は0点とします。

- 1 ヨーロッパでは、メディアでちやほやされる知識人が全く力を持っていない。
- 2 日本は昔から外国の文化を改革的に受け入れ、外国のやり方に合わせて変化してきた。
- 3 ヨーロッパはルールチェンジを頻繁に行うが、うまく訂正するため周りに気づかれない。
- 4 『空気』の研究』では、日本人が空気に支配されているということについて書かれていない。
- 5 日本では、互いに他人の目を気にしあっていたため、コロナ禍が終わってもマスクを外すことができなかった。
- 6 イギリスでは、自分たちに有利な状況を作り出すために、意図的にコロナで大騒ぎしてロックダウンを行った。
- 7 フランスでは、観光業で稼げなくなってきたことを、環境保護のために観光客を抑制したからだとごまかしている。
- 8 日本では、「脱構築」的な手法が有効なため、「コロナが悪」となればそのことについて議論することができなくなる。

二 次の1～10の傍線部の漢字を平仮名の現代仮名遣いで、解答欄に記入しなさい。(配点二〇点)

- 1 至極便利な商品が出た。
- 2 彼が住民の尊敬を集める所以を調べる。
- 3 犯人の素性が明らかになる。
- 4 不慮の事故で入院中だ。
- 5 母は時事問題に疎い。
- 6 花を一対供える。
- 7 名作を著す。
- 8 経験の如何を問わない。
- 9 5年ぶりに優勝を遂げた。
- 10 客を懇ろにもてなす。

二〇二六年度 学習院大学 総合型選抜(外国高等学校出身者及び帰国生徒)入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望学部	
日 本 語		文学部	
		志望学科	
備考			
(六) 枚中 (六) 枚		受験番号	
採点欄		氏 名	カナ

一

(二)	(二)
⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤

(二)	I
II	
III	
IV	
V	

(三)	ア
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	

(四)	Y
Z	

(五)	

(六)	I

II	

III	

(七)	

(八)	

(九)	

二	
6	1
7	2
す	
8	3
9	4
げた	
10	5
ろ	い